

会員企業 各位

一般社
団法人 日本自動車部品工業会
DX対応委員会 DE部会
部会長 村越 輝美

DX対応委員会 DE部会講演会（ウェビナー）

「AIを活かしたデジタルエンジニアリング最新動向」

～ 設計・開発領域を対象に、

AI活用を含めた新たなエンジニアリングのカタチをご紹介 ～

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

常日頃、弊会の活動にご指導ご鞭撻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、AI技術の進展により、デジタルエンジニアリングの手法が急速に進化しています。設計・開発現場でのAI活用が求められ、効率化と品質向上が期待されています。

そこで、最新のAI技術とCADソフトの活用法を紹介し、設計・開発の効率化と品質向上を目指すためのアイデアを提供いたします。具体的な事例や成功体験を通じて、実践的な情報を共有し、皆様のデジタルエンジニアリングに関する知識の深化を支援いたします。

本講演会では、自動車業界に精通するITベンダー3社をお招きし、ご講演をお願いしました。ご期待下さい。

つきましては、本講演会を会員企業皆様の関連部門の方にご展開の上、ご参加頂きますよう、ご案内致します。

では、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

1. 開催日時および方法

日時：【ライブ配信】第1回 令和7年 3月 7日（金）13:00～16:00（受付開始時刻12:45頃）
【録画配信】第2回 令和7年 3月13日（木）13:00～16:00（受付開始時刻12:45頃）
*各回とも同じ内容です。

方法：Zoomビデオウェビナー

2. 講演の概要

講演1) 【13:05～13:55】

DXの効果刈り取りの「鍵」となるAI活用

～ 産業（製造業）用 AI の活用に向けての課題と施策 ～

企業におけるDXへの取り組みも進み始めた昨今、次はこれらのデジタル情報を活用した効果の刈り取りが重点課題となっています。「AI」技術は、デジタル情報活用領域において検索抽出、状況把握、分析、最適化、自動化など非常に有効に活用できる部分も多いと想定されます。ただし、産業用（製造業）に用いるAIには、より厳格性、正確性と安全性が求められるため、その適用にはもう一段高い課題が存在しています。今回はその課題を明確にし、業務適用に向けた施策をご提案します。

講師：シーメンス株式会社

デジタルインダストリーズソフトウェア ビジネスコンサルティング部 オートモーティブ
ディレクター 日原 進介 様

講演2) 【 14:00 ～ 14:50 】

AI 駆動のデジタルエンジニアリングによる革新

～ PTC の最新ソリューションと未来 ～

デジタルトランスフォーメーション (DX) が進む中、AI技術は製造業において革新的な変化をもたらしています。ただし、やみくもにAIを適用することについての懸念等が挙げられることも、また事実です。本講演では、AIを活用した設計プロセスの効率化や部品検査の自動化など、具体的な事例を交えながら、PTCが提供する最新のAI駆動のソリューションや開発中の機能などの他、PTCのAIに対する考え方をご紹介します。

講師：PTCジャパン株式会社

ビジネスディベロップメント ディレクターフェロー 芸林 盾 様

講演3) 【 14:55 ～ 15:45 】

AI時代における3DEXPERIENCEプラットフォームが提供する「バーチャル・ツイン・エクスペリエンス」

ダッソー・システムズが長年注力してきた「経験の共有」はAI時代においてXaaS (Experience as a service) という形で再度進化を遂げます。デジタルエンジニアリングを中心に今すぐ使えるOOTB (標準機能) ソリューションをご紹介します上で、将来向けの価値提供を含めてご提案致します。

講師：ダッソー・システムズ株式会社

CATIAブランド ディレクター 劉 華璽 様

3. 対象

部工会 正会員企業様限定 (情報システム・開発設計部門等のご担当者様)

※但し、講演者と同業他社は、部工会会員企業であってもお断りする場合がありますので、ご容赦下さい。

4. 定員

各回500名 (先着順)

5. 参加費

無料

6. 本件のお申し込み、お問い合わせ先

1)お申し込み先

https://www.japia.or.jp/topics_detail1040/

申込み〆切 3月 4日 (火) 正午まで

2)お問い合わせ先

一般社団法人日本自動車部品工業会 技術部：大谷、加藤、片桐

TEL. 03-3445-4215 (技術部直通)

E-Mail : gijyutsu@japia.or.jp

7. その他

- ・接続URLは開催2～3日前を目途に、ご登録いただいたメールアドレス宛にお送りします。また、資料は事後配布の予定です。
- ・講演会を円滑に遂行するために、個人情報の一部を記載した名簿を作成して、講師に提供することがあります。

以上